

ポラスグループ

西大宮で40区画332棟

戸建て分譲住宅 1期15棟完売 共有空間充実の住宅街へ

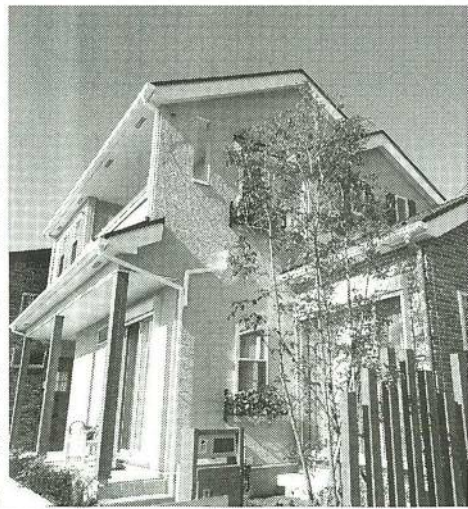


ポラスグループの中央
住宅(埼玉真越谷市、品川
典久社長)は、さいたま市
西区のUR都市機構の都
市区画整理事業「Live
e-Field西大宮」
内で戸建て分譲プロジェ
クト「ワンリンク西大宮

332プロジェクト」
(全332棟)を手掛け
ており、11月11日に第1
期販売として15棟を売り
出したところ、さいたま
市内など地元需要を中心
に全棟を売り切った。J
R川越線西大宮駅から徒
歩20分程度の場所です
くりを進めている。
この332プロジェクト
は、Live-Field西大宮の115軒を
超える区域に主要道路や
商業施設などとともに整
備され、21年までにグ
ループ最大規模の40区画・
332棟の住まいを開発
する。広大な敷地に分散
する形で分譲する。
計16期ほどに分けて毎

期20棟の販売を予定して
おり、来年2月中旬にも
2期目を売り出す。
ターゲットは一次取得
者だけでなくディンクス
からリタイア世代まで幅
広い。

1期15棟は敷地面積1
35〜200平方メートルに建
物面積93〜119平方
メートル。プロサッカーチーム
の大宮アルディージャの
練習グラウンドを臨む。
30〜35歳で年収500
万〜600万円の層が買
い求めた。販売価格は4
780万〜6280万
円。ポリウムゾーンは
3000万円台後半から
4000万円台後半とな
っている。



ワンリンクは、新たな
住まいが良い方向に連鎖
を繰り返し、教育・立地

・外的・人的・生活・地
球の6つの環境に連鎖す
ることをコンセプトとし
ている。
すべての棟に家庭菜園
コーナーも取り入れるほ
か、共有スペースを作り
出し住みやすい環境を目
指す。戸建てならではの敷
地の広さを生かした平屋
建てなども計画する。
街のコミュニティの絆
を深めるワークショップ
を展開するのも同プロジ
ェクトの特徴とする。例
えば、今年12月にはクリ
スマスリース作りを計画
しており、来年からは農

業体験やサッカー教室、
キッズ向けの科学体験、
フラワーアレンジメント
などを定期的に行い入居
者のサポートを行う。
モデルハウスとなった
住宅の一つは、木箱の空
間を作り子どもが遊べる
個室感覚でありながらリ
ビングにつながる。別の
モデルは、勾配天井を採
用してリビングの開放感
を創出したり、太陽光が
注ぎ込む工夫をしている。
ダイニングテーブル
には、子どもの勉強や書
き物ができるスペースな
どを取り入れている。